

紛糾する 医師教育

25/F

紛糾をつづけてきたインターン制をめぐるストライキは、東大医学部から慶大医学部へ飛び火。医師の資格をとるために、研究、経験、さらに生活のためのアルバイトを両立させなければならぬ今のインターン制度に無理があるという学生たち。

こうした中で3月12日、第42回医師国家試験が行なわれましたが、9割がボイコット。2700名の無資格医が生まれることになり、試験シーズンに大きな波紋を投げています。

今週の焦点

子供の防衛作戦

3/F

2043人。これは昨年子供の交通事故による死者の数である。

一向に減らない子供の事故。

今、全国各地で春休みを前に交通安全策が推進されている。

交通戦争の主戦場東京ではデパートが客寄せをかねた事故絶滅の「よい子を守る交通安全教室」が行なわれ、通学路にも大型自動車が溢れて、子供が絶えず危険と同居していることから警視庁では206カ所の通学路から大型自動車の締出しを強行。

また、最近の交通事故の特徴は都市から地方へ拡がり、このため地方の小学校は防犯に必死である。国道6号線をまたぐ茨城県日立市の仲町小学校では学校・父兄・地元警察が一体となって柔道の受身で、車にハネラれた時頭を守る練習、フラッシュ・ドッジ・ボールという練習では、車をよける反射神経を養うことに一生懸命。

まさに臨戦体制そのものの様相です。